

国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 30分

法 規

〔1〕 再免許を受けた固定局の免許の有効期間は何年か。次のうちから選べ。

- 1 3年
- 2 4年
- 3 5年
- 4 10年

〔4〕 無線局の免許人が電波法又は電波法に基づく命令に違反したときに総務大臣が行うことができる処分はどれか。次のうちから選べ。

- 1 再免許の拒否
- 2 期間を定めて行う電波の型式の制限
- 3 期間を定めて行う空中線電力の制限
- 4 期間を定めて行う通信の相手方又は通信事項の制限

〔2〕 無線従事者は、免許の取消しの処分を受けたときは、その処分を受けた日から何日以内にその免許証を総務大臣に返納しなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 30日
- 2 14日
- 3 10日
- 4 7日

〔5〕 無線局の免許がその効力を失ったときは、免許人であった者は、その免許状をどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 3箇月以内に総務大臣に返納する。
- 2 1箇月以内に総務大臣に返納する。
- 3 直ちに廃棄する。
- 4 2年間保管する。

〔3〕 無線局の臨時検査(電波法第73条第5項の検査)において検査されることがあるものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線従事者の勤務状況
- 2 無線従事者の資格及び員数
- 3 無線従事者の住所及び氏名
- 4 無線従事者の知識及び技能

〔6〕 無線局の免許人は、無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内にその旨を総務大臣に報告する。
- 2 速やかに総務大臣の承認を受ける。
- 3 2週間以内にその旨を総務大臣に届け出る。
- 4 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。

国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 無線局を運用する場合においては、遭難通信を行う場合を除き、電波の型式及び周波数は、どの書類に記載されたところによらなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 無線局の免許の申請書の写し
- 2 無線局事項書の写し
- 3 免許状
- 4 免許証

〔8〕 無線局がなるべく擬似空中線回路を使用しなければならないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 無線設備の機器の試験又は調整を行うために運用するとき。
- 2 他の無線局の通信に混信を与えるおそれがあるとき。
- 3 総務大臣の行う無線局の検査のために運用するとき。
- 4 工事設計書に記載した空中線を使用できないとき。

〔9〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。
- 2 無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、直ちに訂正しなければならない。
- 3 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
- 4 無線通信は、有線通信を利用することができないときに限り行うものとする。

〔10〕 無線局が相手局を呼び出そうとする場合（遭難通信等を行う場合を除く。）において、他の通信に混信を与えるおそれがあるときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 その通信が終了した後に呼出しを行う。
- 2 5分以上待つて呼出しを行う。
- 3 自局の行おうとする通信が急を要する内容のものであれば、直ちに呼出しを行う。
- 4 現に通信を行っている他の無線局の通信に対する混信の程度を確かめてから呼出しを行う。

〔11〕 モールス無線通信において、通報を確実に受信したときに送信することになっている略符号はどれか。次のうちから選べ。

- 1 $\overline{\text{ラタ}}$
- 2 R
- 3 TU
- 4 $\overline{\text{VA}}$

〔12〕 非常の場合の無線通信において、モールス無線通信により連絡を設定するための呼出しは、どのように行うか。次のうちから選べ。

- 1 呼出事項の次に「 $\overline{\text{OSO}}$ 」2回を送信する。
- 2 呼出事項の次に「 $\overline{\text{OSO}}$ 」3回を送信する。
- 3 呼出事項に「 $\overline{\text{OSO}}$ 」1回を前置する。
- 4 呼出事項に「 $\overline{\text{OSO}}$ 」3回を前置する。